

貯金の「口座番号」や「暗証番号」を聞き出す詐欺等にご注意ください！

2022年9月12日

公的機関(税務署や社会保険事務所、自治体等)の職員を装って電話をかけ、普通貯金の口座番号とキャッシュカードの暗証番号を巧妙に聞き出し、お客さまが被害に遭われる等の事件が発生しております。

被害を未然に防ぐために、口座番号、キャッシュカード等の暗証番号等はお客さまご自身で 厳重な管理を行ってください。

※JA(農協)のほか、金融機関や公的機関の職員がお客さまの暗証番号等をお尋ねすることはございませんのでご注意ください。
また、お客様のご自宅に訪問し、キャッシュカード等のカード類をお預かりすることもございません。

〈犯罪の手口〉

(1)犯人から、公的機関を装って「還付金があります」などの電話をかけてきます。

*犯人は、銀行や公的機関(市役所、町村役場、税務署、社会保険事務所)、保険会社等を名乗って電話をかけ、「事前に郵送での手続きを送付している」、「手続きの締め切りが過ぎている」、「本人にしかお伝えできない」などと語りながら、この電話で「還付金の手続き」ができると案内します。

(2)普通貯金の口座番号とキャッシュカードの暗証番号を巧みに聞き出します。

*犯人は手続きに必要なだと説明して、暗証番号等の情報を聞き出します。

*金融機関の職員等を名乗る人物(犯人)から、別途電話がかかってくるケースもあります。

※お客さまがお手元に通帳やキャッシュカードをお持ちであっても、犯人が口座番号と暗証番号を使ってインターネットバンクの申込みを行い、不正に利用するケースがあります。

※インターネットバンクの申込みにあたり、JA(農協)よりお客様にお申込みの確認をする場合がございます。

以上